

【会議の経過】

1 開会

2 報告・議事

(1) 東条地域小中一貫校の実施設計について

(委員長)

まず、次第の報告2の1、東条地域小中一貫校の実施設計について。
事務局から報告をお願いいたします。

[事務局 資料説明]

(委員長)

校舎の配置図並びに緊急の避難場所というような形で説明があったんですけど、もしこの説明で何かもうちょっと質問したい、もうちょっと詳しく教えてほしいというようなところございましたら、どうぞ質問していただきたいと思います。お願いいたします。

(委員)

実施設計がこれで終わったということの報告を、今受けていると思ったらよろしいですか。

(事務局)

昨年度から基本設計をやりまして、今年度実施設計をやりました。工期につきましては3月末というふうになっておりますので、こういう施設になりましたという報告になります。

(委員長)

避難場所につきまして、何か心配な点ございましたらよろしくお願いします。

(委員)

ここへ避難される方は地域的にどこからどこまでとありますか。

(事務局)

雨とか災害、地震とかいろいろありますけれども、その状況によって開設する場所が異なってきます。この施設について、この地域の方という限定はありません。市としては防災行政無線で、ここここが今空いてます、事前に準備を行って避難したい方につきましてはどうぞこちらへ来てください、という受け入れ態勢を整えて御案内しますので、その災害に即した状況で、実際は防災課、担当課が判断して開設します。

(委員)

1メートル浸水しても、建物の機能が停止するようなことはないんですね。

(事務局)

最大の浸水ということを考えたときにどこまでなるかというのが、1000年に一回程度起こりうる大雨より、大きい降雨を想定したものだと考えてください。今、小中一貫校が建つあの場所は、皆さんも御存じのように、コスミックホールも避難場所になっています。でも、それ以上に安全にしたほうがいいということで、少しかさ上げをしてより高いところから建てようというふうに今回設計をしています。100年一というのは48時間で308ミリ、1000年一というのは48時間で788ミリの降雨量です。最悪の浸水を考えたとき、小中一貫校は、残念ながら1メー

トルは浸かるということです。以前からこの場所、本当に川のそばで安全なのか、いろんな御意見をいただきました。5メートル下には岩盤層があり、きちっとつないでいく中で建物を建てていきますので、まず安全だということは建築上、間違いないということです。また、避難場所の機能を有する学校であってほしいと、以前から話をしておりましたし、それも可能であることが明確になったと理解していただきたいと思います。788ミリの降雨量があっても、小中一貫校の場所は12時間で水は引くというふうに想定されています。少なくとも、近くの地域の皆さんの安全・安心ということについては、どう確保していくかということを含めて、今後も進めてまいりたいと思っております。緊急指定避難場所としても避難所としても運営は可能であると御理解ください。

(2) その他

(委員長)

質問等なければ、その他について事務局からお願いしたいと思います。

(事務局)

一つ目ですが、前にも皆様に説明させてもらいました、学校種を義務教育学校にするという説明を、3校のPTAの皆様方を対象に行いました。

まず、東小学校につきましては1月7日に、西小学校につきましては1月11日に説明をさせてもらいまして、東条中学校につきましては今月の22日にお邪魔して説明をしようと思っております。また、来月になりましたら連合PTAのほうでも説明したいと思っております。

二つ目ですが、社地域におきましても東条地域を例にさせてもらいまして、開校準備委員会を立ち上げて、順次36年の開校に向けまして調整していこうと思っております。東条地域の開校準備委員会委員の皆様に関しましては、開校までの任期で来年度も引き続き参画をお願いしたいと考えております。のんびきならない場合は、事務局に一報を入れていただければありがたいです。

三つ目ですが、実施設計の成果物がこの3月末に上がってまいります。計画図に関しましては変わりありませんが、来年度入札に入りますので、詳細の公表ができない部分がありますが、御了解願います。

また、31年度の開校準備委員会は、例年どおり大体4月の後半から5月にかけて、第1回目を開催したいと考えています。専門委員会の学校運営委員会で来年度は校歌、校章、PTAの組織関係、また本年度から継続します標準服の検討、これらに入っていきたいと思っております。

(委員)

今のことにも絡んで、2点ほどちょっと教えてください。

1つは、義務教育学校になるということで、広報を見ると教育委員会へ承認を受けてと書いてありました。承認を受けたという以上は、承認に先駆けて決定をする機関があるはずですから、どこが決定されたか教えてください。教育機関を設置するとか教育の体系をどうするとか、こんなものは教育委員会の事務であって、教育委員会で認められるなどという必要はないことです。小中一貫校という新しい取組をやろうとしているわけですから、そういう新しいプロジェクトに対してチャレンジをしているということの誇りと、大変だと思うけど、責任と誇りを持って、事務を進めてほしいなと思います。

2つ目ですが、どうも、この位置が安全なのかということで非常に多くの方が気にされて、かなり反対だということが広がってるような感じがします。こういう問題というのは、できるだけ固まった段階で、説明を聞きたい人には聞けるよ

うな形をお願いしたいと思います。PTAでは説明されているようなので、そういう機会があるのであれば、それを少し公開されるぐらいの形にして、今ここまで来てるということが、聞きたい人には聞けるような機会をつくっていただいたらどうかと思います。できるだけ多くの人に、事前に参加意識を持ってもらうというのは大事なことではないかと思います。何らかの形で、もう少し概要が皆さんに伝わるようなことをお考えいただけないでしょうか。もし可能である部分があれば取り入れていただければありがたいです。

(事務局)

新しい学校づくりについては本当に教育委員会、事務局も含めてですけれども、力を入れてやっているということは間違いございません。決して承認というか、やってるから承認したるわとか、そういう形で議論をしてきたわけではありません。いかにここまで来てるかということ、あらゆるチャンスをいただきながら、多くのところで説明をしていくということは必要なことだと思っております。紙面を通しても含めまして、概要について説明に力を入れていきたいと思っています。

(委員長)

ほかございませんか。

(委員)

東条中学校の天体望遠鏡、あれはどこかに移動しますという話になっていたと思います。その点はどうなったんですか。また、バルコニーも絵で見る限り、上に登ることができたり危険のあるバルコニーだと思いますが、どうですか。

(委員)

天体望遠鏡は、現状は使用しておらず、屋上にそのままあるということです。

(事務局)

現在、東条中学校のドーム委員会とあって、いろんなボランティアで活動していただいています。やはり、継続していくことは必要です。ああいうものが、かつての東条中学にあったということについて、地域の交流室等々に展示をしていただくとか、歴史を引き継いでいくことは必要だろうと思います。

(委員長)

廃棄せずに残してほしいという希望ですのでよろしくお願いします。バルコニーの件なんですけれども、とにかく安全策をとるということで、よろしくお願ひしたいと思います。ほかございませんか。

(委員)

建設場所がちょうど小学校の通学路になってたり、多分中学生も通学路になってるんじゃないかと思うので、その工事期間、絶対事故のないように気をつけていただきたいと思っています。

(委員長)

通学路のダンプカーの出入り、そこらも工事関係者は気をつけていただきたいと十二分をお願いをしていただきたいと思っています。よろしいでしょうか。

〔異議なし〕

3 閉 会

【資料名】

資料1 東条地域小中一貫校の実施設計について

平成31年4月3日